

農地・水・環境の保全向上

～農村地域の資源を守る、みんなの取り組み～

大規模地すべり災害が発生した山形県鶴岡市七五三掛地区へ 「小松・東前郷地区環境保全協議会」が支援米を贈呈

10月16日(金)、大規模な地すべり災害が発生した山形県鶴岡市七五三掛(しめかけ)地区の被災地域住民の方々へ、「小松・東前郷地区環境保全協議会」が支援米を提供しました。

この支援米は農地・水・環境保全向上対策の活動の一環として実施した「田んぼアート」圃場から、地区の親子が収穫した、「あきたこまち」の一部を届けたものです。



七五三掛地区は平成21年2月の下旬から、地滑りの兆候が地域全体に現れ、作付けした田畑も被害に遭う大規模な災害となりました。七五三掛地区注連寺境内で行われた贈呈式では、小松・東前郷地区環境保全協議会から「同じ農家として被災した農家の方々の助けになれば」と、同地区の8世帯へあきたこまち480kgが贈呈されました。地区住民を代表して渡部自治会長から「大変ありがたい。新しい生活に向けてがんばりたい」とお礼の言葉が述べられました。



注連寺での贈呈式の様子



贈呈された田んぼアート米



地元メディアからも取材を受けました

■活動報告 西根北地域自然保全活動隊■ ～景観形成活動～「田んぼアート稲刈り作業」

桜木内小学校全校生徒による田んぼアートの稲刈りが行われました。
農作業を通じて、農地・農業用水等の重要性を学ぶ貴重な一日となりました。

